



# 学校だより

令和5年6月30日

横浜市立菅田の丘小学校

校長 若山 京子

7月号

[文月 July]

## 「みんな花笑み」

- 「知」 主体的に考え粘り強く取り組む子を育てます。
- 「徳」 自分を大切にし、互いの違いを認め合える子を育てます。
- 「体」 心身ともにたくましく生きていく子を育てます。
- 「公」 まちを愛し、人とつながり、ともに創造する子を育てます。
- 「関」 広い視野をもち、自分の思いをのびのびと表現する子を育てます。

## 夢中になれること

校長 若山 京子



梅雨時ですが、雨が降らない日は一気に気温が高くなり、熱中症を予防しながらの屋外活動となります。マスクを着けたまま、上着を羽織ったままで運動し、具合が悪くなる子いることが心配です。感染症予防、肌を晒したくない気持ちを理解しつつ、子どもたちに、熱中症は命の危険にさらされることを伝え、運動時にはマスクを外すことや上着を脱ぐことができるよう声をかけています。ご家庭でもお子さんにお話いただきますようお願いいたします。

6月は5年生が静岡県に宿泊体験学習に出かけ、海の活動としてカヌーやサップ、お茶の名産地ならではの茶摘みなどを体験しました。4年生は資源循環局見学、3年生は日生劇場へ観劇に出かけました。2年生はまち探検、1年生は学校探検に取り組んでいます。教室の外に出かけ体験を伴う学習で、子どもたちが経験を積みながら、自ら考え判断して行動する力、仲間と協働して課題を達成する力を身に付けられるよう、教職員は事前準備や計画を綿密に行い、当日の安全な実施に心を配っています。多くの子が楽しみにする教室の外での学習ですが、中には不安で緊張する子もいます。どの子も安心して学習に取り組み、活動の中で子どもたちが新しい気づきに驚く表情、学びが深まり満足した様子、達成感を味わう姿などを見ることができると、教職員にとってはこの上ない喜びとなります。6年生も7月に予定されている日光修学旅行の事前学習を進めています。最高学年として最高に楽しい思い出となる修学旅行となるよう支援してまいります。

さて、昨今、生成AIといった人工知能の使用について世間で話題になっています。生成AIは指示に従って文章や画像など多様なコンテンツを作り出します。それは、人間社会において劇的な変化をもたらすと同時に、著作権侵害や情報漏洩等のリスクを生み、利用における早急なルール作りが求められています。学校において生成AIの使用で懸念されることは、夏休みの読書感想文といった作文課題や、自由研究の制作課題などへの取り組み方です。安易に生成AIを利用することは、子どもたちの考える力を身に付ける機会を奪ってしまいます。とはいえ、私も子どもの頃には「ドラえもんがいたら作文をスラスラ書く道具を出してもらうのになあ。」などと思ったものです。それが実現される今、使いたいと思う子、使ってしまう子は多いのではないかと思います。

しかしながら、子どもたちは自分が好きなこと、楽しいと思えることについては、とても饒舌になり、言葉が次から次へとあふれてくるのです。実際に、3年3組の子どもたちが「草木染」を体験した際、学習後の振り返りカードには多くの子が用紙いっぱい自分の思いを書いていました。生成AIに頼らずとも、興味をもって物事を深く知ることで大好きになり、「好きなものを語る言葉」がたくさん増えて、子どもは言葉を綴っていくのだと思います。夢中になって課題に取り組むことで、自分なりの思いを作品に表現するのだと思います。学校では、子どもたちが意欲をもって自ら課題を見つけ、解決に向けて主体的に考えることができるよう、一層、授業改善に取り組んでまいります。そして生成AIを有効に活用できる力を身に付けられるよう支えていくことが学校の役目かと考えます。



7月24日から長い夏休みが始まります。普段はなかなかできないことに挑戦するなどして、様々なことを体験してほしいと思います。子どもたちが夢中になって取り組む姿を期待しています。ご家庭では、子どもたちの学びを見守るとともに、早寝、早起きなど、基本的な生活習慣について声をかけていただき、健康に夏休みを過ごせるようどうぞご協力よろしくお願いたします。